2018年度　経団連自然保護基金　支援申請書（兼　誓約書）

公益信託 経団連自然保護基金 御中

入力例(基金システム内のフォーム
とは異なります。御注意下さい)

下記により、公益信託 経団連自然保護基金の支援を申請します。
なお、支援を受けたときは貴基金の定めた募集要項に従って事業を行うことを誓約します。

申請書提出日

団体名 NPO法人　〇〇〇保全協会

法人格の有無 有

国籍 日本

代表者

役職 代表

氏名 自然　守男

団体住所

〒 XXX－XXXX

〇〇県ロロ郡XX町1234番地

HP http://www.abcd

支援対象事業名

〇〇〇保護林の保全と＊＊＊＊の生息調査事業

支援希望金額 4,000 千円

事業実施国名 インドネシア

プロジェクト責任者

役職 事務局長

氏名 生物　好子

電話 012-34-5678

FAX 012-34-5670

E-Mail xxxx@mail.XXX.or.jp

プロジェクト情報

プロジェクト分類 ①開発途上地域の自然保護活動

プロジェクト地域 ①アジア太平洋地域の開発途上地域

（プロジェクト地域　説明） インドネシア
XXXXXdddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddddd

プロジェクト種類 dddddddddddddddddd州〇〇〇市＊＊＊＊地区

団体情報

法的根拠

関連法令

（関連法令　説明）

継続年数 ①新規で単年の事業

（継続年数　説明）

前年度支援 いいえ

支援額

中間報告提出

誓約

申請者は、本申請が認可された場合、以下の事項につき同意し、誓約する。　はい

①申請内容と申請時の義務：申請者は、本申請の内容が正確、かつ虚偽でないことを認める
また、申請者は、申請に際し、経団連自然保護基金が定める募集要項を理解し、その内容に従う

②助成決定後の義務：申請者は、助成が決定された場合、募集要項に定める助成先の義務を理解し、その内容に従う

③解約：助成が決定された団体が、以下の各号の一つに該当する場合、経団連自然保護基金は、助成を中止、解約し、支払い済みの助成金の返還を求めることができる

＜解約事由＞
- 申請書に虚偽の申告があった場合
- 助成金を対象外の活動に使用した場合
- 事業計画変更の連絡を怠った場合
- 事業年度終了後に余剰金が生じた場合
- 予定の活動を遂行できなかった場合

④個人情報の取り扱いについて：本サイトにて記載の氏名・住所等の個人情報について、運営委員会等への提供に加えて委託者・信託管理人・主務官庁等に開示されることに同意する
また、助成が決定された場合は、受給者の氏名・所属・助成対象の事業内容・業績等について公表される場合があることに同意する

受託者 使用欄	精査印	登録印	備考	プロジェクト番号